

(一社) 日本ろう者水泳協会
2021年度強化事業概要
(内 規)

1 概要

デフリンピック、その他の国際大会等に向けて、強化指定選手、育成選手、監督・ヘッドコーチ・コーチ・トレーナー・総務・手話通訳者等（以下スタッフ等という）を対象に、強化事業を実施する。この強化事業では、水中トレーニングやドライランドトレーニングに加え、メンタルトレーニング、栄養指導、チームの役割分担など、国際大会を想定した内容を含み実施する。

なお、2021度は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら、選手及びスタッフ等の安全を第一に考えた上で強化事業を進めていくため、日程や内容等の変更・中止・延期もあり得ることとする。

2 強化体制

国際大会に向けての強化体制を構築し、より充実した強化事業が進められるスタッフ等で構成する。担当や業務分担を明確にし、組織的な運営ができるように留意する。

3 強化事業の内容

【強化委員会】

強化委員会の委員及び事務局等により、強化計画の策定、計画の実施、活動の進捗状況の確認、評価などを行う。

2021年4月から2022年3月にかけて、スタッフ等を対象に年間を通して複数回実施する予定。また、合宿の中で、追加して開催することもある。

【スキルアップ研修】

強化に関わるスタッフ等の資質向上を目的に、協会の運営や強化事業を行う上で大切なことを学習する機会とする。2021年4月及び2022年3月までに2回実施する予定。

【国外強化合宿】

原則として、毎年4月1日から翌年1月31日までの長期連休（5月連休、8月盆休、年末年始）で実施する。練習場所は原則として国際水泳連盟公認50mプールを条件とする。対象は、強化指定選手の中から参加基準をクリアした選手とし、その基準は、2021年度の登録が完了した後に発表する。

【国内強化合宿】

2021年4月1日から2022年3月31日までに数回実施する。原則として、期間は2日間（1泊2日）以上、練習場所は日本水泳連盟公認50mプールまたは25mプールを使用する。

また、この合宿に参加する強化指定選手及び育成選手は、この間に行うトレーニング等に耐えうる心身ともに健康な選手とする。なお、開催場所までの移動は自己責任とする。

【国内一般合宿】

2021年4月1日から2022年3月31日までに数回実施する。原則として、期間は2日間（1

泊2日)以上、練習場所は日本水泳連盟公認50mプールまたは25mプールを使用する。

また、この合宿に参加する当協会競技会参加会員は、この間に行うトレーニング等に耐えうる心身ともに健康な選手とする。なお、開催場所までの移動は自己責任とし、合宿に必要な経費については全て自己負担とする。

4 スタッフ等構成

原則として、監督(統括責任者)、ヘッドコーチ、コーチ、トレーナー、総務/庶務、手話通訳者等で構成する。監督は原則としては豊田が行うが、豊田が不在の際には、平田が変わって行う。ヘッドコーチは、総務/庶務を兼ねることがある。

<当年度スタッフ等担当分担> (2021年度)

監督(統括責任者)	豊田 律(公認水泳コーチ3)、*平田 純(公認水泳コーチ1)
ヘッドコーチ	*鈴木しのぶ(公認水泳コーチ3)、*平田 純(公認水泳コーチ1)
コーチ	猪飼 聡、辻 真愛滯(以上公認コーチ)、 *藤川 彩夏(公認水泳コーチ1)、濱田 尚
トレーナー	中里 賢一(公認トレーナー)、佐藤 学(鍼灸・あん摩マッサージ指圧師) 峯 咲也果(理学療法士)
総務	*鈴木しのぶ(公認水泳コーチ3)、*藤川 彩夏(公認水泳コーチ1)
手話通訳者	山塚 希生子、山崎 真紀、長山 綾

ただし、「*」は、兼務者とする

付則 2018年11月1日より適用
2019年 2月24日改定
2020年 3月22日改定
2020年 8月 9日改定
2021年 7月 7日改定